

子どもとの面会 権利保障を訴え

那覇で親子ネット

離婚後、親権を持たない親が子どもに面会する権利の保障を訴える「親子の面会交流を実現する全国ネットワーク沖縄」が7日、那覇市のパレットくもじ前で小冊子を配布し、問題への



理解を呼び掛けた。写真。

新垣直代表は「沖縄は離婚が多く、父親だけでなく家庭内暴力から逃げ出したママの母親もわが子に会えないことがある」と説明する。「離婚は親の問題であり、子どもには両方の親から愛される権利がある。引き離しの一番の被害者は子どもだ」と話した。

親子ネットによると、離婚に伴う親と子の「生き別れ」は全国で年間10万組とも推計され、面会を求める調停や訴訟も増えている。

沖縄タイムズ

9月8日